

2010年度

科目名	社会科教育法Ⅱ(公民)			コード	52530
担当教員	浅野 宜之				
配当	人社3			コード	52530
開期	通年	講時	金曜日2限	単位数	4
授業テーマ	公民科教育について学び、体験する				
目的と概要	中学校社会科及び高等学校公民科(現代社会、政治経済、倫理)の教員免許取得のため、公民科教育のあり方について学び、各科目の教材研究及び模擬授業の実践を通じて、実際に授業ができる力を養うことを目的とします。				
成績評価法	模擬授業の内容(30%)、期末の提出物(50%)に、平常点(20%)を加味して総合評価します。				
テキスト	『テキストブック 中学校高等学校 公民科教育』第一学習社 『高等学校学習指導要領解説 公民編』文部科学省				
参考書	随時紹介します。				
履修に当たっての注意・助言	積極的に講義および討議に参加すること。				
講義計画					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. イントロダクション</li> <li>2. 高等学校公民科教育の内容</li> <li>3. 高等学校公民科教育のこれまで</li> <li>4. 高等学校公民科の目標</li> <li>5. 公民科の授業</li> <li>6. 現代社会の目標、学習計画、教材研究</li> <li>7. 倫理の目標、学習計画、教材研究</li> <li>8. 政治経済の目標、学習計画、教材研究</li> <li>9. 学習指導案の作成</li> <li>10. 公民科の授業例</li> <li>11. 教材研究について</li> <li>12. 学習指導案の作成(1)、講義と課題発表</li> <li>13. 板書、発問その他授業において気をつけるべき点</li> <li>14. 学習指導案の作成(2)、作成した案の発表</li> <li>15. 前期まとめ</li> <li>16. 模擬授業と討議 「青年期」</li> <li>17. 模擬授業と討議 「先人の思想」</li> <li>18. 模擬授業と討議 「民主主義」</li> <li>19. 模擬授業と討議 「日本国憲法と人権」</li> <li>20. 模擬授業と討議 「国民主権と議会制民主主義」</li> <li>21. 模擬授業と討議 「法と裁判」</li> <li>22. 模擬授業と討議 「日本経済と資本主義」</li> <li>23. 模擬授業と討議 「財政と租税」</li> <li>24. 模擬授業と討議 「雇用と労働」</li> <li>25. 模擬授業と討議 「公害防止」</li> <li>26. 模擬授業と討議 「国際経済」</li> <li>27. 模擬授業と討議 「国際社会と日本」</li> <li>28. 模擬授業と討議 「地球環境問題(温暖化)」</li> <li>29. 模擬授業と討議 「民族と難民問題」</li> <li>30. これまでの模擬授業と討議を通しての検討</li> </ol>					